

他者との関係構築的な社会認識形成を評価する中学校社会科の ペーパーテスト事例3（再構成探求型）

単元「消費税増税」

[問題]

あなたは、中学校の授業で「消費税増税」についてディベートをすることになりました。その際、あなたは「消費税増税」に対して反対側の意見を述べることになりました。

現在日本の消費税は5%ですが、2014年4月からは消費税が8%、2015年10月には10%になる予定です。消費税があがる理由として政府は社会保障費の財源不足に充てるためとしています。社会保障費とは、仕事を退職した人がもらう年金や病気などの理由で働けない人を助ける生活保護にかかるお金などです。今の日本の税収（税金の収入）では、その社会保障費を補うことができなくなっています。そのため、消費税をあげて税収を増やして社会保障を充実させようとしているのです。

あなたは、「消費税増税」に反対側から以下の問いに答えなさい。

- (1) ディベートで「消費税増税」に対して反対側のあなたは、反対側の意見を述べるために新聞記事を使うことになりました。反対側の意見を述べるには新聞記事のA、B、Cよりどれを用いるのがよいか選びなさい。また、その新聞記事を選んだ理由を述べなさい。

A：安倍首相が消費税率を来年4月から8%に引き上げることを表明した。私たちは増大する社会保障費と危機的な財政を踏まえ、消費税増税は避けて通れない道だと主張してきた。現在の経済状況を考慮しても、先送りする事情は見当たらない。増税によって、社会保障の持続可能性は高まり、財政を健全化していく第一歩となる。その結果、国民、とりわけ若い世代が抱く将来への不安がやわらぎ、不透明感が解消されてくことも期待される。(毎日新聞2013年10月2日社説より抜粋)

B：安倍首相が、消費税の増税を決めた。5%の税率は来年4月から8%にあがる。97年4月に3パーセントから5%になって以来、17年ぶりの消費税増税だ。これまでは所得税などの減税とセットだったが、今回はない。金額にして8兆円余り。我が国の税制改革史上、例のない大型増税である。家計への負担は大きい。(朝日新聞2013年10月2日社説より抜粋)

C：2014年4月の増税実施に向け、景気は着実に回復傾向にあるとの判断は妥当だ。増税の目的は言うまでもない。高齢化に伴って増加が続く社会保障財源について、税収が景気に左右されにくい消費税の税率引き上げで確保することだ。(産経新聞2013年10月2日社説より抜粋)

(2) 消費税増税に賛成のYさんが以下のように意見を述べた。それを踏まえ、次の①②の問いに答えなさい。

私は、消費税増税に賛成です。その理由は2つあります。1つは、社会保障費が充実する点です。現在日本は高齢化が進んでおり、高齢者の年金や医療、介護の財源は保険料や窓口負担だけでは足りなくなっています。そのため国は多額の社会保障の予算を投じており国の社会保障費は年に1兆円ほど増えています。そのため、消費税を増税して社会保障費を充実させる必要があります。2つめは、税金をすべての世代から一律に集められる点です。消費税は物を買うごとに税を負担するため、国民から一律に税金を集めることができます。また、所得税や法人税と違い安定的に税を集めることができます。所得がない人は、法人税や所得税をあげればよいと考えてしまいがちですが、今の日本の現状を見ると安定的に税金を集められる消費税を増税することは所得のない私たちにとってやむを得ないことだと考えます。

①「消費税増税」に賛成側のYさんの意見をまとめたものをア～オから2つ選びなさい。

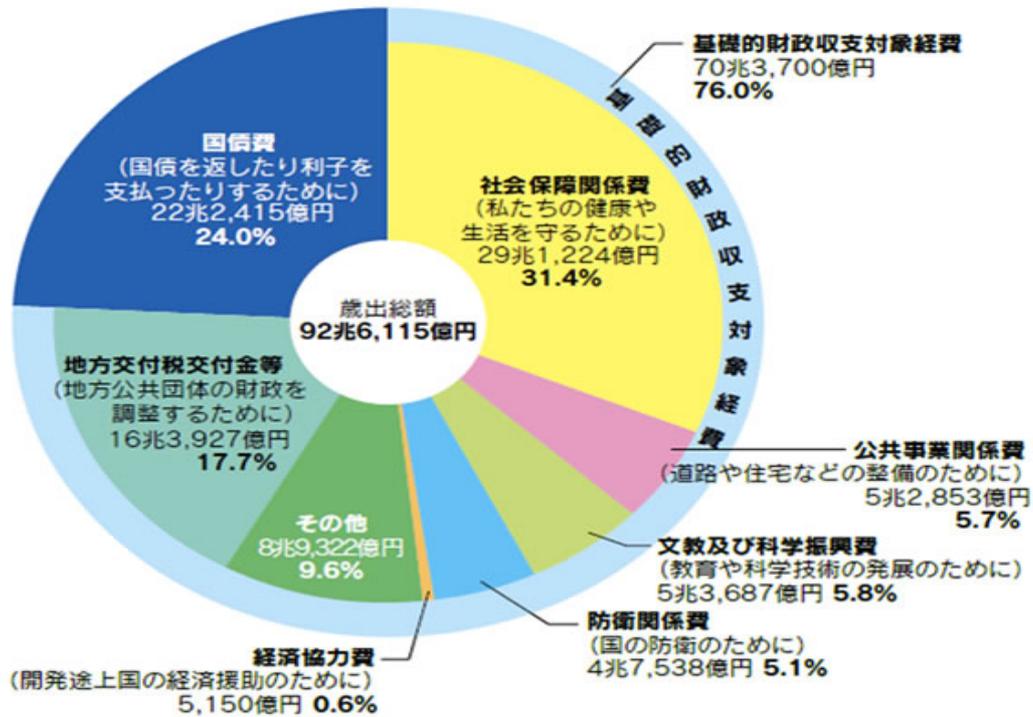
- ア・日本は車が多いため、道路が多く必要である。そのため、増税して多くの道路を作るべきである。
- イ・年金や医療、介護に使われる社会保障費に使われるお金が年々増えてきているので、その財源を補うために消費税を増税するべきである。
- ウ・車を持つ人がだんだん増えてきているので、自動車税も上げるべき。
- エ・消費税を増税することで、収入の多い人に負担が多くかかる。
- オ・若い世代に将来負担をかけないために一律に税金を集められる消費税を増税するべき。

②Yさんはどのような人の立場に立って以下のような「消費税増税」に賛成の意見を述べたのか。一番近い立場と考えられるものをカ～ケの中から1つ選びなさい。また、その理由も述べなさい。

- カ・10代中学生 キ・30代会社員 ク・40代会社社長 ケ・50代公務員

(3) (1)の新聞記事からもわかるように消費税増税に対して、ニュースでは良い見方と悪い見方があります。現在消費税は5%ですが、2014年4月には8%になり、2015年10月には10%になる予定です。

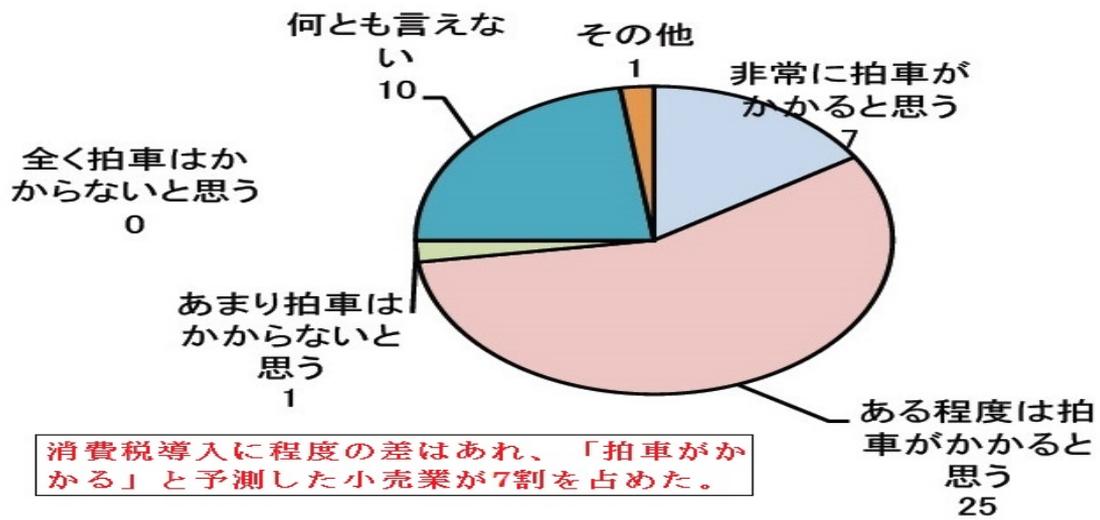
消費税を増税することでの楽観的な日本社会（日本のよい姿）の未来の予想、または悲観的な日本社会（日本の悪い姿）の未来の予想を次の資料Ⅰ～Ⅵのうち2つ以上用いて述べなさい。



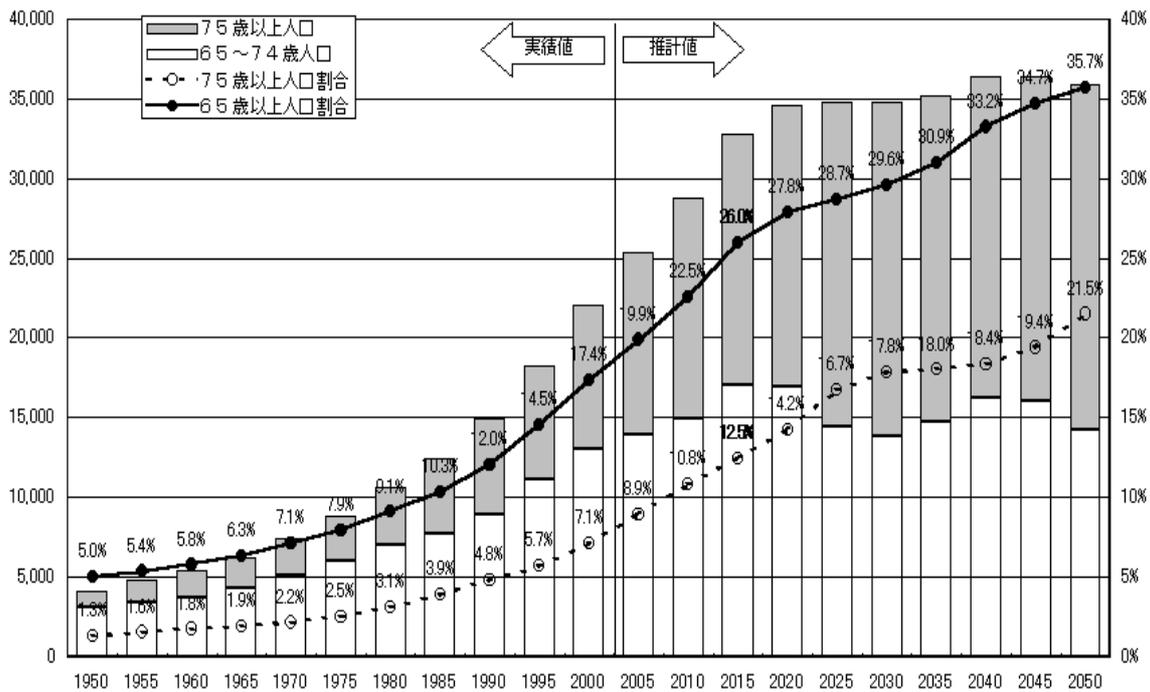
資料 I 「平成 25 年度：国の歳出（使った金）の内訳」

| 消費税率 10% での家計への影響は… | 現役世帯 (会社員) | | | | 75歳以上の高齢者世帯 | |
|---------------------|--------------------|-------------------|------------------|--------|-------------|--------|
| | 40歳以上の夫、専業主婦、子ども2人 | 40歳以上の共働き夫婦、子ども2人 | 40歳未満の単身 | 夫婦 | 単身 | |
| 年収額 | 300万円 | 500万円 | 夫300万円 妻200万円 | 300万円 | 240万円 | 180万円 |
| 消費増税による年間負担額 | +8.2万円 | +11.5万円 | +11.2万円 | +6.2万円 | +7.4万円 | +5.5万円 |

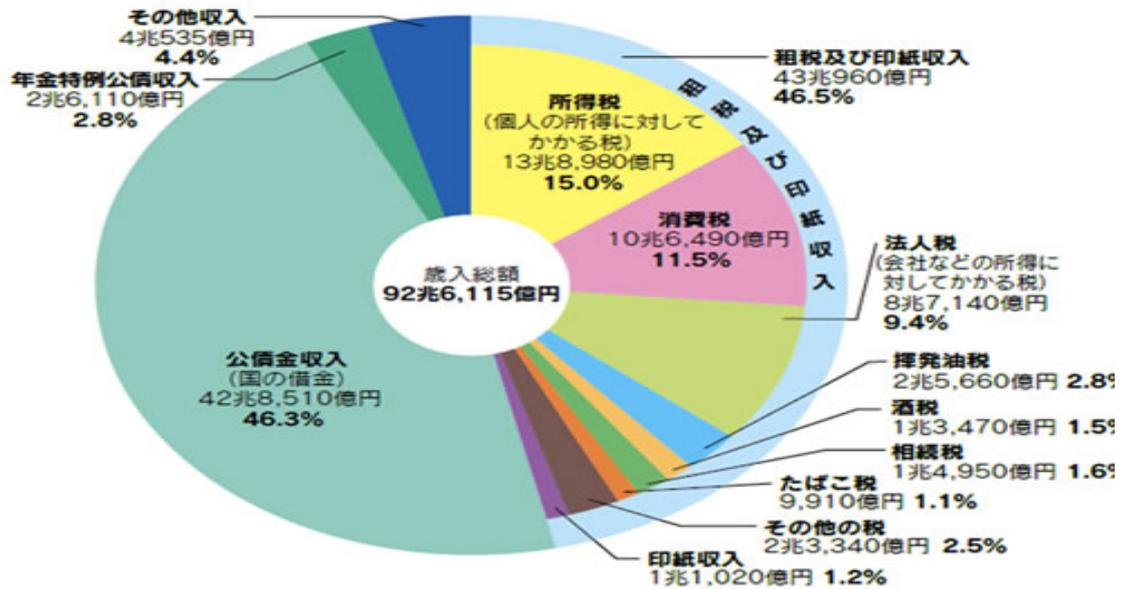
資料 II 「消費税 10% での家計負担の予測」



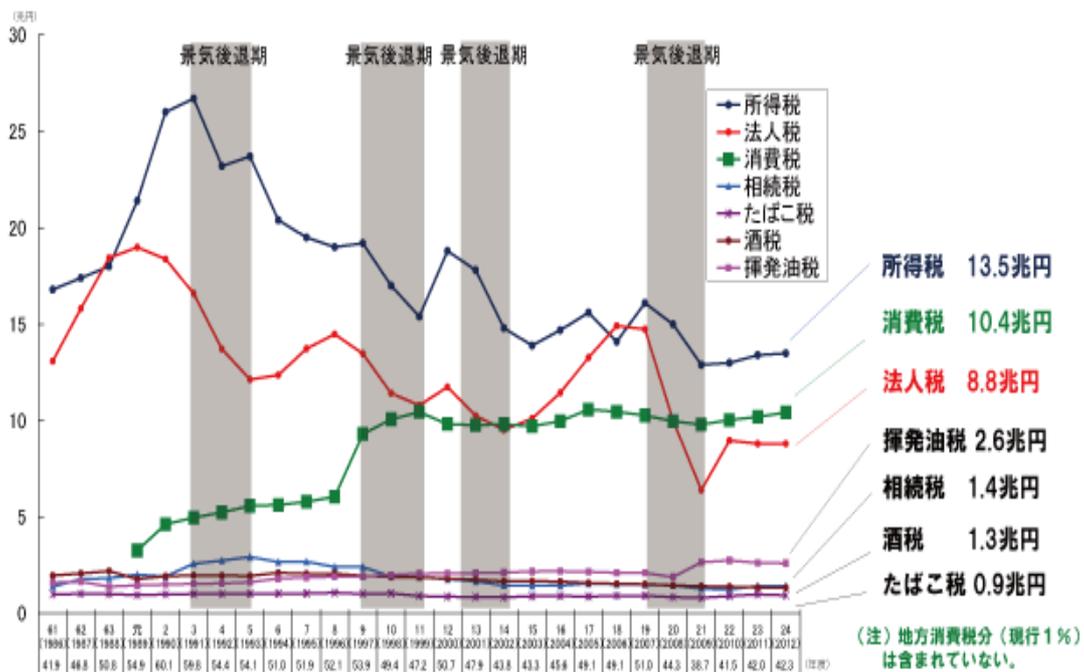
資料Ⅲ「消費税増税による買い物を控える消費者が増えるか小売業者へのアンケート」



資料Ⅳ「高齢者の人口と人口に対する高齢者の割合」



資料V 「平成 25 年度：日本の国の歳入（国の収入）の内訳」



資料VI 「日本の税収の推移」

- 資料Ⅰ 財務省「国の一般会計歳出額内訳（平成 25 年度当初予算）」
<http://www.nta.go.jp/shiraberu/ippanjyoho/gakushu/hatten/page03.html>
- 資料Ⅱ 朝日新聞 DIGITAL 2012 年 9 月 23 日 「消費税 10%での家計負担予測」
<http://www.asahi.com/special//minshu/TKY201209220566.html>
- 資料Ⅲ DIAMOND online 「消費税増税による買い控えの小売業者へのアンケート」
<http://www.dfonline.jp/list/syohizei>
- 資料Ⅳ 2000 年までは総務省統計局「国政調査」, 2005 年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成 14 年 1 月推計）」
<http://www.mhlw.go.jp/topics/kaigo/kentou/15kourei/3a.html>
- 資料Ⅴ 財務省 「国の一般会計歳入額内訳（平成 25 年度当初予算）」
<http://www.nta.go.jp/shiraberu/ippanjyouho/gakushu/hatten/page03.html>
- 資料Ⅵ 財務省 「我が国の税収の推移」
<http://www.mof.go.jp/faq/seimu/04.html>

解答・採点基準

問1 B 理由：Bの新聞記事では、今回の消費税増税は、我が国の税制改革史上、例のない大型増税であるとして、今までの消費税増税は所得税の減税とセットだったが今回はそれがないので家計への負担も大きいとしているから。

問2 I：イ・オ

II：カ 理由：Yさんは所得のない人の立場に立って意見を述べていると考えるので、カ～ケの中で所得がないと考えられるのはカの10代中学生であるから。

問3 以下表に記載（※ここでは悲観的な日本社会[悪い日本の姿]の解答例を記載）

| | 主な解答例（アンカー） |
|---|---|
| 5 | 私は消費税増税により日本は悪い方向に進むと考える。その理由として資料Ⅱと資料Ⅲを使う。資料Ⅱでは消費税を10%にした際、私たちの負担の予想、資料Ⅲでは消費税増税により買い物をする人が少なくなると小売業者の予想を述べている。この二つの資料より消費税増税により私たちの負担は多くなり、また買い物を控える人たちも増えることからスーパーなどはもうからず次々とつぶれてしまうと考える。そうすると、必要最低限の物しか買わない人が増え、スーパーだけでなく商品を製造する会社まで潰れてしまい、職を失う人が増えて日本経済はますます悪くなると考える。そのため、所得が低い人には税金を一部免除したり、補助金を出していくことが必要であると考え。また、生活に必要なものは税金を免除するなどの対策も行うべきだと考える。 |
| 4 | 私は消費税増税により日本は悪い方向に進むと考える。その理由として資料Ⅱと資料Ⅲを使う。資料Ⅱでは消費税を10%にした際、私たちの負担の予想、資料Ⅲでは消費税増税により買い物をする人が少なくなると小売業者の予想を述べている。この二つの資料より消費税増税により私たちの負担は多くなり、また買い物を控える人たちも増えることからスーパーなどはもうからず次々とつぶれてしまうと考える。そうすると、必要最低限の物しか買わない人が増え、スーパーだけでなく商品を製造する会社まで潰れてしまい、職を失う人が増えて日本経済はますます悪くなると考える。 |
| 3 | 私は消費税増税により日本は悪い方向に進むと考える。その理由として資料Ⅱと資料Ⅲを使う。資料Ⅱでは消費税を10%にした際、私たちの負担の予想、資料Ⅲでは消費税増税により買い物をする人が少なくなると小売業者の予想を述べている。この二つの資料より消費税増税により私たちの負担は多くなり、また買い物を控える人 |

| | |
|---|--|
| | <p>たちも増えることからスーパーなどはもうからず次々につぶれてしまうと考える。そうなると、将来的に何も娯楽のない日本社会になっていくと考える。</p> |
| 2 | <p>私は消費税増税により日本は悪い方向に進むと考える。その理由として資料Ⅱと資料Ⅲを使う。資料Ⅱでは消費税を10%にした際、私たちの負担の予想、資料Ⅲでは消費税増税により買い物をする人が少なくなると小売業者予想を述べている。この二つの資料より消費税増税により私たちの負担は多くなり、また買い物を控える人たちも増えることからスーパーなどはもうからないと考える。</p> |
| 1 | <p>私は消費税増税により日本は悪い方向に進むと考える。その理由として資料Ⅱと資料Ⅲを使う。資料Ⅱで消費税を10%にした時、私たちの負担は多くなる。また、資料Ⅲから消費税増税により買い物をする人が少なくなると予想する小売業が多いので、生活に困る人がでてくると考える。</p> |

問3のルーブリック

| | |
|---|---|
| | <p>ルーブリック（悲観的な日本の未来予測の場合）</p> |
| 5 | <p>自らの立場を明確にしている。 2つ以上の資料を関連付けて根拠を示し、自身の考える未来を明確に予想している。予想する未来について、悲観的な未来予測に対してその打開策を提案することができている。（楽観的な未来予測では、その予測による危険性〈リスク〉を述べている。）</p> |
| 4 | <p>自らの立場を明確にしている。 2つ以上の資料を関連付けて根拠を示し、自身の考える未来を明確に予想している。予想する未来について、悲観的な未来予測に対してその打開策を提案することができていない。（楽観的な未来予測では、その予測による危険性〈リスク〉を述べていない。）</p> |
| 3 | <p>自らの立場を明確にしている。 2つ以上の資料を関連付けて活用して、自身の考える未来を予測している。</p> |
| 2 | <p>自らの立場を明確にしている。 2つ以上の資料を関連付けて活用して合理的に説明している。</p> |
| 1 | <p>自らの立場を明確にしている。 2つ以上の資料を用いているが資料を関連付けておらず説明も合理的とは言えない。</p> |